

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

さいのかがやき

彩の耀

第170号

平成26年1月10日発行
発行人 荻野勝治
編集人 広報委員会
(委員長 町田浩征)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

“基本に徹し”力を得る年に

(一社)埼玉県電業協会 会長 荻野 勝治



荻野会長

新たな年の始めにあたり、ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素より、一般社団法人埼玉県電業協会の活動に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

す。

平成26年の動向は、金融緩和・財政政策・成長戦略による政策から緩やかな景気の回復基調となり、明るい兆しが見えるように感じられます。

ここ数年において建設業界では、本格化する復興への加速、またオリンピック開催のための施設準備からなる人材不足が懸念されます。昨年6月に国土交通省と厚生労働省が連携して「建設人材不足対策」ための施策に取り掛かり始めましたが、これが形として現れるまでには時間がかかりそうです。

電気設備工事業界としては、公共事業と民間事業が好調に増加傾向に推移し、建設投資がプラス成長となっている現在、人材不足がネックとなり、需要に応えられない現状があります。業界では、頼ってきた団塊の世代の方々の高齢化に伴い、次の時代を担う技術者の人材確保と人材育成を重要課題としています。ここで、より早急に手

立てを考える事が責務であり、当協会としても会員全体の状況をみながら、得策となる事業を実行していきたいと思っております。

さて、私も早、当協会会長を務め四回目の新年を迎え、今年は“基本に徹する事”を理念として、何事にも取り組もうと考えております。この理念から、まず、社員へ解り易くA.当たり前の事B.馬鹿にしないC.チャントやることの頭文字をとって、ABC目標としました。基本力が重要なことはどのようなことでも言えることです。例えば、挨拶や人とのつながりを大切にする日常での基本が人となりを育てます。職場でも、安全確認、打合せによる事前確認など現場での基礎的なことの積み重ねによって、企業が健全に育っていくと思います。

ここで、埼玉県電業協会としては、初心に返り新たな気持ちで、会員企業がこの業界を支えていることを自負し、それぞれが基本に徹し、必要な力を磨いていく事を提唱していきたいと考えています。ないがしろになりそうな企業の基礎力を確固たるものとした上で、業界のあらゆる難問を解決へ導くために、会員相互の力を集結し、立ち向かっていきたいと思っています。

今年も会員一同、県民の皆様のため力を合わせ業界の発展に努めてまいり所存であります。最後に、この2014年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう祈念を申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

埼玉県優秀建設工事表彰

埼玉県が発注した建設工事において、その工事を優秀な成績で完成した建設業者、現場代理人等を他の模範となるものとして、毎年表彰しています。

平成25年度の電気設備工事部門で、当協会会員が受賞した工事は次のとおりです。

平成25年度県土づくり優秀建設工事施工者表彰 (埼玉県各課所長表彰)

〈敬称略〉

○住宅課長表彰	イーテクノス(株)	22県住熊谷玉井団地第2工区電気設備工事
○設備課長表彰	(株)岡村電機	総簡加) 11東部地域特別支援学校(仮称)北棟改修電気工事
○営繕工事事務所長表彰	(株)長井電機	12本庄高校セミナー棟新築ほか電気設備工事

平成25年度県土づくり優秀現場代理人等表彰 (埼玉県各課所長表彰)

○住宅課長表彰	現場代理人 吉川 利晃	イーテクノス(株)	22県住熊谷玉井団地第2工区電気設備工事
○設備課長表彰	現場代理人 杉本 康二	(株)岡村電機	総簡加) 11東部地域特別支援学校(仮称)北棟改修電気工事
○大宮公園事務所長表彰	現場代理人 三輪 直樹	瑞穂電設(株)	12秋ヶ瀬公園電灯幹線改修工事
○営繕工事事務所長表彰	現場代理人 吉谷 鉄太郎	(株)長井電機	12本庄高校セミナー棟新築ほか電気設備工事
○荒川右岸下水道事務所長表彰	現場代理人 渡邊 正文	(株)電成社	右岸流域処理場(川越) 高圧受電設備移設工事

「自治体間競争で日本を元気に」



上田知事

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様、新年おめでとうございます。健やかに平成26年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、円高の是正や株価の回復に加えオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定するなど、明るい兆しが見えた1年でした。今年はこうした良い流れを本格的な成長につなげる年にしなければなりません。

私は、変化の激しい今日、社会経済の課題解決を国に任せるのではなく、小回りの利く自治体が知恵を絞り、スピーディーに施策を展開することが日本の元気を取り戻すカギになると考えています。

こうした視点に立って、埼玉県は国や全国の自治体をリードする取組を進めてきました。

例えば、中小企業向けに無担保・第三者保証人なしでも融資が受けられる使いやすい仕組みを作りました。最近10年間の県内における銀行の貸出金残高の増加額は全国第2位であり、企業活動の活発さを物語っています。しかも、無担保・第三者保証人なしでも、貸し倒れによる損失補償は増えています。

埼玉県では企業誘致でも補助金の交付といった方法には頼らず、個々の企業のニーズに応じた迅速なサービスをワンストップで提供することで大きな成果を上げています。平成17年からの誘致実績は675件で、約2万2千人の新規雇用と約1兆円の投資が見込まれています。

過去10年間の企業本社の転出入も1,324社の転入超過で日本一となるなど、埼玉への本社機能の集積も進んでいます。

日本経済の低迷の大きな原因に、グローバル化に伴う国際競争の激化があります。私は機動力のある地方が主体的に地域の産業や雇用を創出していく「通商産業政策の地方分権化」が日本の競争力を高めると考えています。

埼玉県では成長著しい中国やアセアン諸国の活力を積極的に取り込むため、県内企業の海外進出をサポートする窓口を中国やベトナム、タイに設置しました。また、米国やアジア各国の政府や企業に、県内企業の製品や技術を自ら先頭に立って売り込んでいます。

交通網が発達しアクセスが良く、研究機関も集積している本県の優位性を生かし、先端産業の育成な

埼玉県知事 上田 清司

ど新たな産業戦略にも取り組みます。

また、国際競争力を高める上で、世界で活躍できる人材の育成が急務です。

埼玉県では10億円という破格の規模の基金を創設し、3年間で延べ800人の奨学生を世界36か国に送り出しました。

国も海外留学支援を増やす動きを見せており、本県が日本のグローバル人材育成の在り方に風穴を開けたと自負しています。

さらに、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少も埼玉を元気にする上での大きな課題です。そこで埼玉県では、可能な限り多くの若者が自立し、社会・経済を担う人材として成長できるように支援しています。

例えば、生活保護世帯の子供に学習支援を行い、高校進学率を97%と県全体の水準まで引き上げました。不登校対策にも力を入れ、公立中学校における不登校率を平成18年度の全国ワースト8位からベスト10位まで改善させました。全国に先駆け、発達障害を早期に発見して必要なケアを行う取組にも力を入れています。

一方、埼玉県は、日本全体が抱える課題についても、成功モデルを示せるようプロジェクトを立ち上げています。

太陽光などによる創エネと徹底した省エネでエネルギーの地産地消を図る「埼玉エコタウンプロジェクト」により、新たなエネルギー政策のモデルを示していきます。

また、国家財政を圧迫する国民医療費の増加を抑制し、あわせて誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を目指す「健康長寿埼玉プロジェクト」を進めています。

さらに、女性の力で社会・経済を活性化する「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進め、女性の活躍の場を更に広げていきます。

自治体がそれぞれのアイデアで切磋琢磨する中から、多種多様な成功モデルがどんどん生まれます。それらが全国に広まるたびに、日本を元気にする政策が蓄積されていきます。

競い合うことで日本の元気を盛り上げていく。埼玉県はそのトップランナーとして成功モデルを全国に発信し、日本の再生を先導していきます。

今年は午年です。埼玉県が、そして日本が未来に向けた道のりを力強く駆け抜けられるよう全力を尽くしてまいります。一般社団法人埼玉県電業協会の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

縁結ぶ一枚の写真

協会だより
西部支部

(株)中村電気 中村 正

父親の代から営む電気工事店を受け継いで3年になる。

若い頃にはオヤジ、アニキと折り合いが悪くオヤジの電気工事店を退社してから22年間一人親方としてやって来た。親族関係のお付き合いなども苦手だった。

3年前、急な病気で倒れ、逝ってしまった社長であるアニキから電気工事店を受け継ぐ事を許された3代目。新たに出港し舵をとることになった。

新年には目の前に大きな白波が立ち座礁寸前。二年目には荒波。現在、徐々にだが渚に変わりつつある。

船もまた船長一人では航海できない。無力な船長に気持ち良く力を貸してくれた航海士がいた。

オヤジの代から海図を見ている専務だ。一緒に航海してくれるかとの問いかけに、即答してくれた有難さは忘れまい。

舵取について行けず下船する者もあれば色々な問題も発生する。そして、ある一人の新たな乗組員。この若者は従兄弟（いとこ）であるが大手企業に数十年勤めていた。

知識・学識も豊富で営業、事務職あらゆる事をこ

なすのだ。荒波に立ち向かう精密な羅針盤を手にいれたのだ。

大きな船から小さな船へ乗り換えるのも勇気があったことだろう。これもまた感謝しなければならない。

母がリビングに写真を置いている。亡きアニキと自分が写っているやつだ。叔父の十三回忌へ行った時に一緒に撮ったものだ。大人になってから二人で一緒に撮る写真は珍しい。母はこの写真が好きなのであろう。

写真には二人ではない、三人目がいたのである…もう一人は。新たな乗組員である従兄弟、彼のオヤジの十三回忌だから。四年前、黒い礼服を着た男三人は晴天の中、照れくさそうだが、にこやかに写っている。

最近になり彼が家に招待してくれた。初めて訪れた彼のリビングには偶然にも同じ写真が飾られていた。子供の成長のみを飾る家庭が多いと思うが、これを見た時に何か熱くこみ上げてくるものを感じた。

またいつ嵐が来るのかは分からない。乗組員やその家族、周囲の助けが必要だ。この三年間、大事な人との別れや助けを知った。無力な船長はこれからも腕や精神を鍛え、帆を張り、縁を大切にし周囲に感謝しなければならない。

福島県電設業協会の全面協力を得て 東日本大震災復興支援・視察会

(株)明電社 代表取締役 吉野川裕之

11月20・21日に埼玉県電業協会として島村副会長を筆頭に総勢9名が参加し、福島県電設業協会の方々にご協力いただき復興支援・視察会を行いました。

初日は朝8時に大宮をバスで出発。首都高・外環・常磐道を通り、午前11時頃いわき市内に到着しました。到着後、豊間海岸・塩谷崎を視察しましたが、豊間海岸付近の住宅地に関しては震災直後の私が視察に行った時とほとんど変わらず復興していませんでした。

昼食後にメヒコ駐車場にて福島県電設業協会の三浦理事と末永理事（いわき支部長）のお二人と合流し、スパリゾートハワイアンズの視察に向かいました。

スパリゾートハワイアンズでは、施設運営会社の常磐興産株式会社の顧問・坂本氏の講演を聞かせていただきました。講演は、炭鉱から観光にシフトしていった創設者の話から会社の裏話。そして復興話まで大変おもしろい話ばかりであつという間でした。

ハワイアンズから旅館までの道中、バスの中で三浦理事から震災当時の説明を聞き、旅館到着後に福島県電設業協会の松崎相談役、坂本会長、末永支部長、荒川理事、三浦理事、大内専務理事の6名の方たちと意見を交換しました。

震災・災害当時の問題点はやはり連絡手段がなかったとの意見が多く、その後は資材と労働力の不足が問題のようです。特に現在は、人手不足が深刻化しているようで、今後の大きな課題だと思います。

意見交換後に島村副会長から坂本会長へ復興支援金を

贈らせていただきました。意見交換会での続きを懇親会で補うような形で話が盛り上がり、初日は終わりました。

二日目は朝早くから松崎相談役と三浦理事のお二人に合流していただき、バスの車窓からいわき市泉の仮設住宅を視察。復興住宅建設現場も視察しました。ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の副館長から震災当時の生々しい映像を見ながらご講演いただきました。副館長ご自身の車が流されている映像や津波に流され体中が傷だらけになった話は、津波の恐ろしさが伝わってきました。

アクアマリンふくしまの施設復興に携わった大和電設工業(株)の新妻さんから、応急対応と仮復旧までのお話を聞かせていただき、当時の大変さがよく分かりました。二日間お世話になった福島県電設業協会の方々に感謝申し上げます。



ものづくり技能フェスタに参加して

人材育成委員会 内山 祥章(内山電設(株))

10月19日(土)・20日(日)に「ものづくり技能フェスタ」が県民活動総合センター(北足立郡伊奈町)にて開催されました。この大会は埼玉県内の様々な業界に従事している「技能士」が卓越した技術を披露したり、格安で県産品の物販や、ご来場者の皆さんに「ものづくり」を体験して頂くなど、例年大きな賑わいを見せるイベントです。人材育成委員会は前回に引き続き、初日にエコ発電とエコ工作の2ブースを設け、参加させていただきました。

エコ発電ブースでは、自転車による発電体験や太陽光発電設備を展示しました。自転車による発電体験では、自転車発電機(LED電球、白熱球、ブザーなど次々に負荷をかけることで、ペダルがだんだん重くなる仕組み)を使って、電力使用量を楽しく体感していただきました。太陽光発電設備では、お越しになった方々の関心が高く、真剣に説明を聞いていました。また、エコ工作ブースでは未来の電気屋さん(小学生対象)にソーラー工作キットを使ってソーラー実験を体験していただきました。先着20名を3回に分けて募集したエコ工作はエコ発電ブースの宣伝効果にも助けれ

れ、すぐに定員に達する好評ぶりでした。小学生対象でしたが前回よりも難易度が高い工作だったので上手に作れない参加者が多く、サポートに入った委員は大変苦労しましたが、出来上がったソーラー模型が投光器の明かりで動いた瞬間、今まで心配そうに見ていた子供の顔がみるみる笑顔になり、親御さんに出来上がりを伝える様子はとてもほほえましい光景でした。

あいにくの雨で、来場者は少なかったようで、ちょっぴり残念でしたが、委員や事務局を始め、多くの方々に協力をいただき、無事終了出来たことを有り難く思います。この場を借りてご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



技術育成

2回目の技術講習会 蓄電池など先端技術を 会員と県内自治体の技術者など約100人が参加



12月3日に建産連研修センター大ホールで第2回目の技術講習会を開きました。当日は協会員のほか、県や県内自治体の技術者も含めおよそ100人が参加。新しい技術を取り入れた最先端の商品について、各メーカーから特徴や導入メリットなどを聞きました。

講習会に入る前に荻野勝治会長が「昨今、優秀な技術者育成・確保が課題となっている。本日の講習会もこれらへの対策の一環と言えます。全国的にも技術者が減っており、業界を挙げてその対応に迫られています。協会が技術と経営に優れた企業の集団として認知されるよう、努力していく。本日は長時間に渡る勉強会となりますが、実りあるものとしていただきたい」とあいさつ。

講習会は4部で構成。第1部は岩崎電気の嶋田晃技

術主任が「県内LED外灯と景観照明の近況」、第2部で「LED照明の今後の展開と法関連について」と題しパナソニックエコソリューションズ社の西勝典課長が、第3部では東芝ライテックの野中達也主務が「蓄電池とスマートコミュニティの将来について」、第4部で「EV充電器・補助金その他」について日東工業の大畑光由課長が、それぞれ40分という持ち時間で内容の濃い講義を行った。参加者は皆、新技術でどのようなメリットがあるのか、自分の仕事にどう活かせるのか真剣に聞き入っていました。



三県連絡会議

平成25年度「三県連絡会議」 ～3県から発信～



11月22日に本年度の三県連絡会議を開催しました。担当県である一般社団法人千葉県電業協会の並木会長から「三県が一丸となつてのアピール力は強く、日本電設工業協会会員大会でのアクションプランにも三県からの意見が反映されている」とあいさつをいただきました。

この会議では、三県一同で成果を出し発信できるよう、また各県へ持ち帰り自県での活動に活かしていくことを確認しました。

協議した事項は以下のとおりです。

- ①東京オリンピックに向けての労働力不足・入札不調などの対応について
- ②「社会保険制度の変化への取り組み」について
- ③分離発注促進の具体的方策
- ④最低制限価格の引き上げについて
- ⑤県発注営繕工事におけるデザインビルドおよびPFI方式の採用状況について
- ⑥総合評価入札方式における加対象事業について

世界中で注目される新材料

Voice

大塚電設 (株) 大塚 嵩之

今、次々と新しい科学技術が生み出されて発展していきます。LED、スマートフォン、電気自動車、宇宙太陽光発電などなど現在実用化されているものから、開発途中でこれから実用化されていくようなもの様々です。これらの実用化は私たちの生活を変えていきます。

みなさんはカーボンナノチューブというものを知っていますか？これは今、世界中で注目されている新しい材料です。

カーボンナノチューブは炭素原子のみで構成されたグラフェンシートを円筒形に巻いた構造をしていて1層のものを単層カーボンナノチューブ、2層以上からなるものを多層カーボンナノチューブと呼びます。ナノとはミリの1000分の1がマイクロで、さらに1000分の1がナノです。これは人の髪の毛の1000分の1という小ささです。直径は1～数ナノメートルで、この直径の違いやグラフェンシートの巻き方によって金属や半導体になるといった電気的特性からLSI（大規模集積回路）や大画面薄型テレビなどへの応用が期待されています。ま

た、アルミニウムの半分の軽さ、鉄の20倍の強度という機械的性質から将来宇宙エレベーター（軌道エレベーター）を作るときのロープの素材としても期待されています。

私も大学生の頃、このカーボンナノチューブについて研究していました。そして少しではありますが新しいことを発見することができました。まだまだ未知な部分が多い材料ですが今後、学生や研究者の新たな発見・研究でどのように応用・実用化されていくのか注目していきたいです。



会員企業紹介

(株)三共電気商会

Tel 048-461-7751
FAX 048-461-7785

和光市本町26-60

—企業モットー—

本社、狭山支店、宇都宮出張所の3事業所で主に民間企業をメインに取り組んでおります。

—employment data—

従業員数=14 女性雇用人数=3
高齢者雇用人数=4



ニチデン技術サービス(株)

Tel 048-542-6800
FAX 048-542-7080

北本市東間2-254

—企業モットー—

お客様のニーズに対し技術・誠意・創意を以って社員一丸となって取り組んでおります。

—employment data—

従業員数=9 女性雇用人数=2
高齢者雇用人数=2



(株)エコー

Tel 048-571-0803
FAX 048-571-0840

深谷市人見399-4

—企業モットー—

公共・民間ともに実績を積んで、お客様に満足いただけるよう努めております。

—employment data—

従業員数=9 女性雇用人数=3
高齢者雇用人数=1



釣谷電機(株)

Tel 048-258-5911
FAX 048-258-5922

川口市青木1-5-3

—企業モットー—

電気の保安確保と共に歩んで92年。これからも法の遵守を基に安全と信頼を重ねて参ります。

—employment data—

従業員数=7 女性雇用人数=2
高齢者雇用人数=2



協会のうごき

11月

8日 人材育成委員会
12日 第8回理事会
13日 中間監査
20日 東日本大震災復興支援・視察会
(福島県電設業協会との意見交換)
22日 三県連絡会議

12月

3日 人材育成委員会
第2回技術講習会

6日 三役会議
建築設備関連三団体連絡会議
17日 第1回選挙管理委員
第9回理事会
第1回収益事業役員検討会議

1月

8日 官公庁新年挨拶回り
10日 技術研究委員会
16日 経営者セミナー・新年賀詞交歓会(会員)
23日 広報委員会、人材育成委員会

28日 企業対策委員会

2月

6日 事故防止対策委員会
13日 平成25・26年度向け就職進路指導説明会
14日 総務委員会
18日 第2回選挙管理委員会
第10回理事会

3月

18日 第11回理事会

(一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (14社)

○旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
○国益電設工事(株)(南区)
○埼玉電設(株)(中央区)

〔さいたま市〕

新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(見沼区)
浜野電設(株)(北区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞徳電設(株)(北区)
(株)八洲電業社(北区)

東部支部 (12社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)
(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
ニチデン技術サービス(株)
(北本市)
○野口電気工事(株)(越谷市)
深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (18社)

(株)新井電機(飯能市)
○飯島電器工事(株)(川越市)
(株)市之瀬電設(志木市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
◎相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (16社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
(株)エコー(深谷市)
岡根電気工事(株)(本庄市)
小沢電気工事(株)(行田市)
共和電機(株)(秩父市)
◎熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野市)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(行田市)
○松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
○(株)躍進電気(深谷市)

南部支部 (10社)

内山電設(株)(川口市)
◎(株)奥富電気工事(川口市)
川島電気(株)(川口市)



営業向けセミナー開催 独占禁止法を勉強

10月22日に東日本建設業保証埼玉支店との共催で、協会会員企業の経営者および営業担当者など40人が参加し、さいたま市民会館浦和で独占禁止法などを中心とした営業関係セミナーを開きました。

メインテーマは「公共工事と独占禁止法・刑法・入札談合等関与行為防止法」で、弁護士の二宮照興氏が90分にわたり解説。第二部で建設経営サービスの高橋功課長が「国土交通省の支援策について」を30分にまとめて説明しました。

セミナーに入る前に熊田弘信・企業対策委員長はセミナーの趣旨と概要を説明し「本日は2部構成のセミナーで、2時間に渡って勉強していただきます。独禁法その他法令をしっかりと理解していただ

き、コンプライアンスを遵守し今後の仕事に役立てていただきたい」とあいさつ。続いて東日本建設業保証の関司支店長も同様にあいさつ。

セミナー終了後、場所を変え懇親会を行い和やかな歓談の時間を過ごしました。



コンプライアンス遵守を呼び掛けた